

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションデザイン演習 III Fashion Design III		1年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
神長学	非常勤講師室		授業中に指示します	
授業の概要				
ファッションデザインの応用である。ファッションデザインで学んだデザイン表現法を生かし種々の素材をつかって、雑貨デザインとして表現、制作する。				
授業の目標				
異なる素材とそれに関するテクニック、デザインを学び、それを自ら小物雑貨として制作し理解する。				
授業の方法				
素材の説明、実技指導により作品を完成させる、またお互いの作品を吟味しあうことで、売れる商品であるか、機能的な作品であるかなど商品の付加価値的ファッション性をうかがう。シラバスを一部変更することがある。				
学習の成果(学習成果)				
1.身近な材料(紙・布)から、雑貨のデザインを考えることができる。 2.紙の折り方で生活用具ができるようになる。 3.毛皮を使って、バックやアクセサリ、ブックカバーなどの製作から応用作品に発展できるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	イントロ、雑貨デザインについて、 : 家にあるものをピックアップし、デザインを考えてみる。			
第2回目	実習、発表			
第3回目	作品作り1: 簡単なものから: 紙を使って何が出来るか? パッケージ箱/をつくる。参考書籍: FOLDING TECHNIQUES FOR DESIGNERS			
第4回目	作品作り2-①折り方を工夫して紙のランプシェードを作る			
第5回目	作品作り2-②: 実習 完成			
第6回目	作品作り3-①: 布を使って、簡単なバッグやアクセサリを作る			
第7回目	作品作り3-②: 実習			
第8回目	作品作り3-③: 実習			
第9回目	異素材: 皮革 皮を使って小物を作る、三つ編み、プレスレッド、ブックカバーなど			
第10回目	作品作り4-①: 実習			
第11回目	作品作り4-②: 実習			
第12回目	作品作り4-③: 実習			

第13回目	作品作り4-④: 実習	
第14回目	作品作り4-⑤: 実習	
第15回目	作品作り4-⑥: 実習 完成	
第16回目	アクセサリ、小物: 身の回りにある安いものを使って付加価値のあるアクセサリ/小物を作る。安全ピンで? 輪ゴムで? など	
第17回目	作品作り5-①: 実習	
第18回目	作品作り5-②: 実習	
第19回目	作品作り5-③: 実習	
第20回目	作品作り5-④: 実習	
第21回目	異素材: 毛皮を使って、: 毛皮の簡単な基本と縫い方。ポンポンを作ってみる。	
第22回目	自分たちが持っている小物に毛皮をあしらってみる。マフラーに?、バッグに?	
第23回目	最終作品: 今までやった素材を組み合わせて作品を作る。一番はじめの授業のようにターゲットを設定して作品を作って発表する。	
第24回目	作品作り6-①: 実習	
第25回目	作品作り6-②: 実習	
第26回目	作品作り6-③: 実習	
第27回目	作品作り6-④: 実習	
第28回目	作品作り6-⑤: 実習	
第29回目	作品作り6-⑥: 実習 完成、発表	
第30回目	講評、まとめ	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	40%	履修上の心得に準じ、きちんとした態度で授業に望んでいるか。作品の完成に向けて進捗は適切か。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容(態度含む)	60%	作品はこれまでの知識、技術を生かし、完成度の高いものに仕上がっているか。
その他		
教科書と参考図書		
実物提示、自編プリントの配布。参考書: FOLDING TECHNIQUES FOR DESIGNERS: FROM SHEET TO FORM. 和の布つなぎ、布をつなぐ日々、津軽こぎんと刺し子など		
履修上の留意点・ルール		
材料費は個人負担のため、授業時に相談。集中授業にて実施する。(2回)		